

令和３年度第１回学校評議員会

住 所 盛岡市羽場 18-11-1
学 校 岩手県立盛岡工業高等学校
校 長 佐々木 光 男
電 話 019-638-3141

1 会議の名称

令和３年度第１回学校評議員会

2 会議の目的

学校運営等について地域住民代表及び地域産業代表等から幅広く意見を聞き、相互の意思疎通や協力関係を高め、地域社会に開かれた特色ある学校づくりをより一層推進する。

3 会議の日時

令和３年６月１６日（木）１３：００～１４：００

4 会議の場所

盛岡工業高等学校 応接室

5 会議の出席者

- (1) 評議員 東海林 敦 株式会社ミクニ 盛岡事業所長
清水 健 司 岩手県立産業技術短期大学校 校長
佐々木 秀 一 盛岡市立飯岡中学校 校長
小山田 正 敏 同窓会監事
田 屋 千 穂 元本校ＰＴＡ３学年委員長
- (2) 学校側 佐々木 光 男 校 長
水 野 扶佐史 副校長
寒河江 研 哉 副校長
尾 形 祐 一 定時制副校長
河 内 啓 祐 事務長

6 会議の次第

- (1) 開 会
(2) 学校評議員委嘱状交付及び校長挨拶
(3) 学校概況説明
ア 令和３年度学校経営方針並びに経営計画について（副校長）
イ 令和３年度全日制の概況説明について（副校長）
ウ 令和３年度定時制の概況説明について（副校長）
(4) 質疑応答、意見交換
(5) 学校評議員より提言
(6) 校長謝辞
(7) 閉 会

7 会議の概要

(1) 学校概況説明

令和３年度学校経営方針並びに経営計画、学校概況等について、水野副校長及び寒河江副校長より資料に基づき説明。その後、定時制の学校概況について尾形祐一副校長より資料に基づき説明。

(2) 質疑応答

評議員

新型コロナウイルスの状況、対応について教えて欲しい。

学校側

発熱症状があるとか、家族がPCR検査を受けることになったという家庭からの連絡の頻度が上がってきている。陽性者が確認された場合には県教委と協議しながら休校措置等を検討していくことになる。

評議員

企業では抗原キットを購入し検査に利用しているが高校では導入できないのか。

学校側

冬季国体の際には簡易検査を行ったことがある。秋田県は厳しい規制があり、県外出張から戻ったら3日間の自宅待機で対応しているそうである。

評議員

志願者数の減少が気になっている。志願者を増やすための対策やPR方法を何か考えているのか。

学校側

昨年度文化祭が中止になった影響は大きいと思うが、今年度は中学生に学校の様子を是非見てもらいたい。学科によっては出前授業を行い工業高校の面白さをPRしている。今年度の新たな取り組みとしては、公式ツイッターを開設し、実習や学校行事の様子等を高頻度で発信している。また、昨年度から中学校の先生を対象にした見学会を開催し、工業の実習の内容等を見てもらい工業高校についての理解を深めてもらうことができた。今後も積極的に情報発信していきたい。

評議員

高校入試の様子をみると、少子化が進み生徒の取り合いになっているようだ。中学校の進路指導では、本人や保護者の考えを1番にしている。昨年度は学校を見学できないのがつらかった。中学校として、高校の近くまで行き、校舎の外観を見学するだけだった。高校生が中学校に来て、直接話を聞く機会があったのはありがたかった。

学校側

今年度は体験入学や文化祭で学校を公開し、工業高校の魅力を発信していきたい。

評議員

少子化だけが原因では無いと思い、原因を探っている。ものづくりに対する根本的な興味が遠ざかっているようで、今後の産業界が大変になる。工業高校と連携して対策を練りたい。

評議員

小学校の長期休みの宿題も、自由研究か工作のどちらかになってきており、ものづくりをする機会が減ってきている。土日も忙しく、ものづくりの活動をするために出かけるのも難しい。

学校側

早い段階でのアプローチも必要だと考える。小学校への出前授業なども更に検討していきたい。

(3) 提 言

評議員

生徒が工場見学に来たときには、工夫してロボットなどの面白いものを見てもらっている。盛岡工業高校のOBはユニークであり今後も採用していきたい。また、盛工出身の女子で加工を希望する社員もいて、女性の活躍もサポートしていきたい。

評議員

盛岡工業の校長と共に是非中学校訪問をしたい。連携事業、合同企画を是非立ち上げたい。

評議員

推薦入学の基準が変わり部活動のしびりが無くなったため、中学での進路指導が難しくなった。県内の工業高校の統合が進んでいるが、学校目標において岩手のものづくりに関わる人材を育ててほしい。

評議員

個々の生徒に応じた指導をしてほしい。卒業生が指導してもらって良かったと思える授業をお願いしたい。

評議員

盛岡工業に入れて良かったと思っているOBは多い。盛岡工業のOB同士の付き合いやつながりは、仕事をしていても役に立っている。自分にもっと自信を持って欲しい。PTA活動や母親委員で生徒と深く関わることが出来たでの、今後とも活動を続けてほしい。

8 会議のまとめ

評議員の皆様からいただいたご意見やご助言は、本校の教育活動を肯定的に捉えたうえで、更なる発展・飛躍を期待するという前向きなものであった。

教職員と生徒及び保護者との更なる信頼関係の構築や、工業高校の今後の在り方について、引き続き校内外のご意見を参考にしながら、より良い教育を実践して行きたい。